



NIA SQUARE スクエア

第15号

1991年9月1日発行

〈編集〉

習志野市国際交流協会

特集	ハイ！ボランティア通訳	活動報告	市内高校生10名タスカーサへ 折り紙教室／機内食体験ツアー
タスカーサ通信	教職員代表団 in Narashino	N.I.A.Information	Shichinensai
ワールド・ウォッチング	オレゴン留学記		Narashino Industrial Festival
コラム	新・東西南北見聞録	Let'sチャレンジ	ザ・英文クロスワードパズル
会員紹介	こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ		

特集 ハイ！ボランティア通訳

世界108カ国、2,000人を超える卓球選手・役員が幕張メッセに集い、第41回世界卓球選手権大会は5月6日に閉幕。当協会からも約30名のボランティア通訳が参加し、競技運営や選手生活等に尽力。今回の活躍ぶりをご紹介すると共に、これからの活動を考えてみました。

自分も楽しみながらの通訳



オーストラリア(メルボルン市)やサウジアラビア(カフジ油田)に在住した体験から、「お役にたきたい」とボランティア通訳(英語)に登録。今回は、フランスや中東の選手団が宿泊したホテルの担当をされた吉田さん。「国籍と所属チームの異なる人が多く、名前が長く紛わしい人もいて、確認には手間取りましたね。ブローケン英語だけでも、ていねいな言い方を心がけました。誤った言い方も相手に言いなもらって爆笑。逆に券ほぐれて親密さを

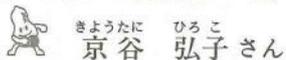
増し、楽しかったですね。カフジでの経験が、ち話も視野を絶好の機会でした。特に日本人の知らない宗教的な部分もある方は、是非に参加してほしいですね。語学に磨きをかけています。



●会場で。左が吉田さん

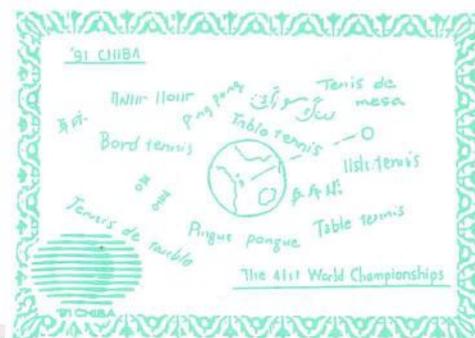
り、相互理解のための交流が必要ですね。これから外国人労働者は増加するばかりで、深刻な問題になります……。そこで、私たちの出番が必要となるのではないのでしょうか。外国人のための相談室などの活動の機会が欲しいですね。これを機に皆でネットワーク作りをしてはいかがでしょう。」

広げてみませんか、仲間の輪



アメリカへ4ヵ月、フランスへ6ヵ月の遊学。アメリカから広島へ里帰りした日系三世の通訳を引き受けた体験から、英語のボランティア通訳に登録。今回はホテル担当をされたとのこと。「日本人は自分から声をかけられないようです。せめて笑顔で、『ハロー』のあいさつのひと声だけでも心がける

●京谷さん



必要がありますね。結構、身振り手振りでも心を通わせることができます。ホテル担当の合間に会場へ行き、初顔合わせのボランティア通訳同士で情報交換をしたりなど、和気あいあいと

して楽しかったです。7カ国語を話す高校生もいました。無断欠席者の話を聞き、ボランティア活動に対する認識の違いを感じました。また、一般ボランティアの人が任務に忠実すぎて、ちょっと固苦し

を与えたのでは…。●ホテルで

少しでもボランティア通訳に興味のある方は、是非積極的に参加してほしいですね。語学に磨きをかけています。



●ホテルで

もっと活躍できる場を!



おおち ひろこ
大地 浩子さん

ご主人の転勤で、ハイデルベルグ(西ドイツ)に2年間住んだことがあり、その時に修得したドイツ語を生かしたいとN. I. A.のボランティア通訳に登録。現在は、自宅で中、高校生に英語を教えておられるとのこと。

「今回、大会に先立って、4月から組織委員会のお手伝いをしましたが、時差の関係で、スタッフの方々は不眠不休の毎日で本当に大変でした。国際的な活動の場を通して、他の部門では知り得ないことを学ぶことができましたし、主婦が社会との接点をもつことも有意義だと思います。

大会が始まってみると、いろいろ不備な点が出てきて、選手の方達から苦情が寄せられました。ボランティア通訳として可能な限り努力はしましたが、日常会話レベルでは処理できない問題もあり、堪能な方が、納得のいく説明を要する場合があります。たとえば、選手用のレストランに入るためには、予め各チームに配られた食券が必要なのですが、“忘れてきた”とか“友人を連れてきたので、いっしょに食事したい”などです。私個人では、すぐその場で判断できず、立場の難しさを感じました。“ホ



◎表彰式

テルにクリーニングを頼むと高いので、外部のコインランドリーを教えてほしい” “秋葉原へ電気製品を買いに行きたい”など試合の進行とは直接関係のない部分での交流も多く、事前に地図やピラを用意すればよかったですと思いました。全体的には、和やかなムードで、語学力だけではなく、大切なのは、“心のこもった奉仕”だと痛感。もっと、ボランティア通訳の活躍できる機会があると良いですね。」

くぼみを埋められる存在に



アメリカに1年、留学した経験から、英語のボランティア通訳に登録。今回が初仕事という山崎さん。

「ボランティア通訳はプロの通訳と違うので、最初から出来ることと、出来ないことの区別をはっきりさせた上で、活動すべきだと思います。少しでも時間があれば、ボランティア通訳のような公共活動にかかわって、自己の可能性を試し自分を広げるチャンスにしたいですね。ボランティア活動は好きでないとできません。何かしてあげたい気持ちと共に、くぼみを埋められる存在でありたいと思っています。また、お金では買えない学習の



●山崎さん

場だと知りました。今回の大きな収穫は、同じ目標を持った者同士が集まり、お互いに学び合ったり情報交換し、心の触れあいを感ずることができたことです。

全く言葉が通じなくても、手ぶり身ぶりで心を通わせることができたので、言語は興味から入れば何とか習得できる可能性があるかとわかりました。知らない外国語にも取り組もうという意欲が湧いてきました。

ホテル担当の私たちは、選手の宿泊や生活、帰国の手続きなどをお世話するJTBの方の指示に従って活動するのですが、指示系統が幾通りもあって混乱した場面もありました。

私のぶつかった問題では、食事に関する苦情が多かったようです。レストランのメニューが全部、日本語で書かれていて、選手が困っていたことや、ブラジルやコロンビアの選手が料理(味つけ)に関する不満を言ってきたことなど……。

会場の救護を担当した時、救急医療としての怪我に備えての用意は整っていましたが、カゼや下痢、便秘の薬がなくて、あわてました。

これを機に、子育て中の主婦にもできる情報交換の場として、ボランティア通訳のネットワーク作りを希望します。」



救急指定・労災指定

医療法人 津田沼中央病院

診療科目/ 外科・内科・小児科・脳神経外科・整形外科・麻酔科
耳鼻咽喉科・皮膚科・人間ドック
特診…泌尿器科(毎週 金)

診療時間/ 平日 午前9:00~午後1:00 午後2:00~7:00
土曜 午前9:00~午後1:00
休診日 日曜日・祭日(但し、急患は除く)

〒275 習志野市谷津1丁目9番17号
☎0474(76)5111(代)

※JR津田沼駅歩7分
京成津田沼駅歩8分

優しい出会い、素敵な出来事の子感。
'91/9/7 OPEN

なにかが始まる予感。それは、ふれあいや出逢い、待ち合わせといった、人と人の交流から生まれます。1,000名様収容のコンベンションルームから、パーソナルにご利用いただける、お洒落なゲストルームにいたるまで津田沼グランドホテルは新しい「エレガントゾーン」として9月7日にオープンいたします。

●大宴会場(1,000名様) ●P200台完備

津田沼グランドホテル

TEL(0474)53-1121(代) 〒275 習志野市津田沼5-12

子どものときから
ボランティア教育



蔡麗貞さん

「私は台湾出身です。主人の留学のため家族4人でアメリカに渡り、結局16年も住みました。友達もいない外国で、苦しい時、淋しい時、心の支えになったのは、その町のボランティア仲間との交流でした。老人ホームや身体障害の病院を回って、アイロンがけや食事のお手伝いをしたり、ケーキやクッキーを作ったり、コーヒーを楽しみながら、アメリカ事情を教わったりしました。その時に私はボランティア活動の尊さを知り、今も将来も続けていきたいと思っています。日本へは、11年前、主人の仕事の関係（大学教授）で来ました。私はプレップ日本語学院のカウンセラーとして、在日中国人の様々な相談に取り組んでいます。

今回、私はVIPルールの通訳として活動しましたが、経済大国を蔭で支えている日本女性のパワーを全身で感じました。

自分の能力を発揮して、いきいきとした日本女性をみて、ある英語圏の代表が『日本の女性は、わが国の女性よりずっと活発で積極的です。語学力も大したものです』と語っていました。

多くのボランティアが集まり、今回の世界卓球大会は大成功だったと思います。部屋に用意されたお茶菓子がクッキーやおせんべいばかりなので、千葉名産のピーナッツをリクエストしました。なかなか好評でしたよ。思いがけず、プータンの皇太子（選手）から縫いぐるみをも



●蔡さん

らって、うれしかったです。VIPルームでの仕事は楽しかったのですが、東南アジア系の人の出入りがほとんどなかったのがちょっと気になりました。今後は英語一辺倒ではなく、近隣諸国の言葉を学校教育の中に取り入れてほしいですね。中国の諺に、『遠親不如近隣—遠い親せきより近くの他人』があります。」

活かそう、貴重な体験



宇井由美子さん

世界卓球選手権大会のボランティア通訳630名のうち、たった2名のイタリア語の通訳は貴重な存在で、目一杯、動いた16日間でした。担当したホテルには10カ国、100名を超える選手・役員が宿泊。片言の英語も通じない国もあり、あいさつの「アロー」「チャオ」「シャロン」「ハイ」「オーラ・アミーゴス」と笑顔が心げました。熟練した語学よりも気持ちが大切で、ボランティア活動はその人の心の持ち方次第だと体得。和紙の折紙や、切手、画集、絵ハガキ、庭の草花を持ち寄って、ミニ交流が繰り広げられました。

ホテルのレストランのメニューは日本語だったので、材料の説明と共に英語とイタリア語に、皆で手分けして翻訳。しょうゆステーキや山いも入りドレッシングは外国人の口に合わず、塩とレモンとソースを別皿に用意してもらったり、パニック状態に陥ったレストランを手伝うこともしばしば。次に多かった問い合わせは、買物情報。外国向けの電圧の異なる家電製品を売っている市内の免税店を調べて教えてあげたり、秋葉原までの車内乗客向け『教えてくださいカード』を2カ国語で書いて携行

させるなどの工夫をこらしました。



「この貴重な体験を活かせるよう、どこかで活躍の場を作り、お会いしましょう」とボランティア通訳同士で約束をして別れました。このままで終わらせたくない…。情報交換の場として、国際交流行事への積極的な参加、交替で『なやみ相談』にんだり、病院への協力など、有志が集まって独自のサークル活動も可能なのでは！



●オーストラリアチームと(さきの姿が宇井さん)

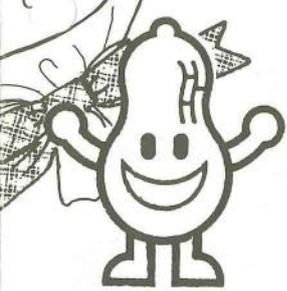
ボランティア通訳の皆さんの積極的な姿勢から、このパワーが大会運営などの成功への秘訣だったと再確認しました。これを機に、当協会でもボランティア通訳の皆さんが集う交流の場を設けて情報や意見の交換をする予定です。昨年の研修に引き続き、卓球交流の体験談をそれぞれの方からお話していただく研修を、10月中旬に予定しております。これから参加してみようと思っている方も、是非、ご出席下さい。詳細は事務局まで、お問い合わせください。

〈インタビュー〉 寺田 邦子(本誌編集委員)
宇井由美子(本誌編集委員)

The 41st world table tennis championships had been held from April 24 to May 6 at Makuhari Messe in Chiba.

About 30 voluntary interpreters of N. I.A. made a lot of contribution to the success of this event.

We interviewed some of them and it looks like they want to have more chances to use their abilities in the future.



ぐっと身近に！お預け入れは50万円から
ちばきん SUPER MMC
津田沼支店
電話 0474-52-2111
9月17日(火) 新築オープン
ちばきん

写真をこよなく愛する貴方に
おおぜき写真館
たしかな色・たしかな品質
みもみ三差路角
TEL0474(72)0236

タスカルーサ通信／教職員代表団 in Narashino／につ こう とし かつ日光 俊勝

7月4日から15日までの12日間、タスカルーサ市より初めての教職員代表団が習志野市を訪問しました。市内の学校訪問を中心に交流の様子を報告しましょう。

代表団の顔触れをご紹介します。



Mr. Stewart Hampton (S. ハンプトン)
Eastwood Middle School の Band

Director、世界的に有名なマーチングバンド、アラバマ大学 Million Dollar Band の指導者でもある。代表団の団長も務める、小柄なユーモアたっぷりの紳士。



Mr. Ron Morris (R. モリス)
Stillman Heights Elementary などいく

つかの小学校を巡回指導している、図工美術の先生。2メートルを越す大きな体に似合わない優しい瞳が印象的。



Mr. Rush Howard (R. ハワード)
Eastwood Middle の

理科の先生。科学者らしい理知的でもの静かな態度の持ち主。教育行政にも明るく幅広い見識を持つ。



Mrs. Barbara Smith (B. スミス)
Woodland Forest Elementary の3年生

担任。明るく陽気で、ちょっぴり涙もろい、典型的な良きアメリカ女性。



Mrs. Loo Whitfield (L. ホイツフィールド)
Central High West の

保健体育の先生。どんな時も笑顔とユーモアを忘れない。

7月4日(木) _____

午後3時17分、成田空港に到着。

7月5日(金) _____

午前中、市役所、教育委員会訪問の後、午後は、習志野高校へ。書道、美術の授業参観の後、柔道、剣道、空手などの部活動を見学、最後に吹奏楽部との交流会が行なわれました。ここでハンプトン先生は、長い間の念願であった習高プラスバンドの指揮をすることができ、体全体が震えるほど感激していました。これは、彼にとって life long dream であったそうです。締めくくりは、部員全員による『America The Beautiful』の合唱。顧問の新妻先生の見事な演出に、代表団一同大感激でした。

夜の歓迎レセプションでは、巨漢のモリス先生の言葉が印象的でした。

「In Narashino, the people are small. But their hearts are big.」

レセプションの後はいよいよホームステイへ。5人の先生方は、それぞれの滞在先へと分かれていきました。

7月6日(土) _____

成田山新勝寺。歴史民俗博物館見学。

7月7日(日) _____

ホームステイ先のご家族との一日。

7月8日(月) _____

今日最初の訪問校は東習幼稚園です。ちょうど七夕の翌日だったので笹飾りを燃やす行事に参加することができました。かわいらしい園児たちの歓迎に一同大喜びでした。そして記念撮影。写真屋さんが、「いちたすいちは」というと子供達が一斉に「にー」と呼びます。そのときパチリとやるわけですが、これがことのほか気に入ってしまったのが、スミス、ホイツフィールドの両先生。その後写真撮影の度に「いちたすいちは」とやるこ

とになってしまいました。



続いて東習小学校へ。プラスバンドの演奏に迎えられ、全校集会に参加しました。子供達からの質問があった後、揃いの法被はっぴに豆絞りの6年生によるソーラン節の踊りが披露されました。校内で栽培された梅を使ったジュースのサービスの後、書写、家庭科などの授業を参観。

教育センターでは、特別に用意された、英語の入ったプラネタリウムで、しばし習志野の夜空たんのうを堪能しました。

第四中学校では、やはり全校集会に参加。生徒たちは、日頃の学習の成果を發揮して英語で質問し、それを帰国子女の生徒が通訳、大きな拍手を浴びていました。続いて、帰りの短学活、放課後の部活動を見学しました。多くの生徒が一斉に様々な活動に取り組む様子は、ことのほか先生方に印象的だったようです。

7月9日(火)～7月10日(水) _____

鎌倉、富士吉田へ一泊旅行。

7月11日(木) _____

文化ホール、谷津バラ園、谷津南小へ。この日から短縮授業ということで、生徒



IEC 国際交流センター 英会話スクール

姉妹都市タスカルーサ市長推薦校

京成津田沼駅北口徒歩1分
TEL 71-7744
受付 12:30~9:30

いいものを
真心にのせて

暮らしの素材からベターライフ商品まで

駐車場1000台

営業時間 AM10:00~PM8:00
※飲食街 AM10:00~PM9:30



津田沼店
TEL.0474(79)3111代

はいなかったのですが、先生方全員による熱烈な歓迎を受け、皆大感激でした。

7月12日(金)

この日は午前中、先生方一人ひとりが一校ずつ分かれて学校を訪問しました。朝7時すぎ、車に分乗して、各校へ出発。

ハンプトン先生は七中へ。音楽の授業では実際に指導もしていただきました。合唱の指導は初めてだったということで大変感激しておられました。

ハワード先生は一中へ。英語の渡辺先生の授業で一年生を相手に、タスカルーサ市の説明をしました。専門の理科の授業では、真剣なまなざしで見学しておられたそうです。

ホイットフィールド先生は五中です。LL教室で英語の向後先生とチーム・ティーチング。体育の先生ということでプールの授業も参観されました。

スミス先生は、大久保小へ。三中英語科の大矢先生が通訳を務めてくださいました。質問をしながら算数の授業を興味



深く見ておられました。給食では特製の南部料理を召し上がったとか。

モリス先生は実籾小へ。六中英語科、小林先生の通訳で、図工などを見学。休み時間は子どもたちといっしょに大きな体をゆすって踊りを踊ったりここでも大変な人気のモリス先生でした。

さて午後は今回の訪問のハイライトと言うべき、「教育交流会議」です。これは両市の教育の相違点や共通点を話し合うことによって互いの理解を深めることを

目的に、開かれたもので、参加者は60名にも上りました。

まず、松盛学校教育部長より習志野市教育の重点について提案があり、次いでタスカルーサ市代表团とパネラーの間の質疑応答、オブザーバーからの意見という順で会議が進められました。

タスカルーサ市側からの質問には、「麻薬やエイズに対する教育はどのようにしているか」などというものがあつたり、また、「欠席への対策として、2日間無断欠席をすると保護者が審判官の所に呼び出される」ということなど、日米の実情の違いを浮き彫りにする興味深い発言が相次いで出されました。尚、2時間にわたる交流会議の詳しい記録については教育委員会指導課でまとめる予定です。

交流会議のあとは、消防本部講堂での代表团主催による答礼レセプション。彼等にとっての The longest day の締めくくりです。ハワード先生のピアノ演奏、「おオスザンナ」の合唱、教育長のフルート演奏となごやかなムードのうちにお開きとなり、代表团の方々は後半のホームステイ先へ。

7月13日(土)

浅草、銀座見学。

7月14日(日)

ホームステイ先のご家族との一日。

7月15日(月)

とうとう、お別れの日が来ました。ホテルから空港に向かう途中、教育委員会に立ち寄りいただきました。職員の前で代表团からお別れの挨拶。指導課、宮崎係長の奏でる、哀愁を帯びたハーモニカの伴奏で『蛍の光』の合唱。万国共通の別れのメロディーに代表团の先生方の目に涙が光っていました。12日間のすばらしい思い出をありがとう。

今回の成功の最大の鍵はホームステイ

の各家庭、学校、諸施設での心のこもったもてなしでした。ご家族の皆様、先生方、職員の方々本当にありがとうございました。最後に、タスカルーサ市にあって、当方との連絡、調整を一人で取り仕切ってくれた、姉妹都市コーディネーターのジューン・ホリングスワースさんに心から感謝の気持ちを捧げます。

Thank you very much for your great assistance, June-san.



先生方のお礼状(抜粋)

During our whole stay in Narashino we were treated with great kindness and hospitality. Everyone was very warm, courteous, and generous. We were much impressed by everything we saw, and we were all honored to be a part of this delegation. The people of Narashino are wonderful and have much to share with us. I hope that our two cities will continue to progress together, that they will continue to learn from each other, and that the relationship will only grow stronger and deeper throughout the years.

(S. Hampton)

The learning experiences gained through the visits to the schools, government facilities, and recreational points of interest were very instrumental in helping us learn more of Japanese culture and lifestyles. I only hope that the bondings which have resulted from this sister city partnership continue to higher levels of productivity educationally, economically, and socially.

(R. Howard)

The people of Narashino are a warm generous people who have created a well ordered place to live. The City of Tuscaloosa and Ron Morris, a teacher, are most fortunate to have such a kind, gentle and wise sister as Narashino.

(R. Morris)

I feel that I gained valuable insight into the educational and cultural lives of the people of our sister city. I believe that through the continuation of such exchange programs, Tuscaloosa and Narashino can continue to learn from each other and help our countries grow together as we approach the 21st century.

(L. Whitfield)

Visiting Narashino City proved to be much more rewarding than I imagined. The most rewarding experience was the time spent with the numerous friends I met. Everyone I met tried to ensure that my stay in Narashino City was as enjoyable as possible.

(B. Smith)



〈筆者紹介〉日光俊勝
習志野市教育委員会指導課指導主事。市内中学校の英語教育に携って18年。



津田沼駅前 総合住宅展示場

毎週日曜日住宅金融公庫相談会実施
J R 津田沼駅南口前

センターハウス 電 (74) 1792

欧・米人による個人指導 英 会 話



株式会社 アトニー外語学院 八千代台校

千葉県八千代市八千代台西1-6-2
梅翁ビル4F
〒276 0474 (84) 5266

21世紀のボーダレス時代を担う若者たちの過熱化する一方の海外留学ブーム。本誌第7号でも取りあげましたが、最近留学希望者から当編集部へ

の具体的な留學生活の問い合わせも急増。そこで、アメリカへ留學中の松野由紀子さんに様子を知らせていただきました。

☆オレゴンに魅かれて

アメリカ・オレゴン州のマクミンビル市に1ヵ月の海外研修に行ったのは、高校2年の夏休みの時でした。カレッジの寮に滞在し、午前中に英語を学び、午後は野外授業。英語力が未熟だったので、大変でした。この時、オレゴンの自然と人の温かさにひかれて、ここのカレッジへの留學を決心。両親は反対しましたが、説得して了解を得ることができました。

今、通っているリンフィールド・カレッジを選んだ理由は、キャンパスが、とてもきれいで環境も良く、初めて留學する私に向いていると考えたからです。3年前に訪れているので知人のいる気安さもありましたが…。

入学の手続は、入学する前年に願書を送ったところ、秋に許可証が届きました。

☆語学の習得は…

留學を決心してからは、TOEFL(英語を母国語としていない人のための英語のテスト)を何度か受験。英語の向上のために、英会話学校に通わず英語を話すア

ルバイトをしました。

昨夏、母校の千葉英和高校の海外研修生たちの授業に参加。そして、3年前にお世話になった方の家に、1ヵ月間、滞在した時、かつての私を知る彼らに英語力の向上をほめられました。その直後、関東学院大学からの交換留學生たちに混じり、本格的なESL(英語を第二言語としているクラス)に入り学びました。この時からカレッジの寮に移り、2人のアメリカ人ルームメイトと一緒にになりました。アメリカ人の家族と生活するホームステイの良さもあるのですが、寮生活は自分のペースが保てる利点がありましたので…。

☆寮生活は…

夏も終わり新学期が始まると、他の寮に移り、新しいルームメイトのアメリカ人との生活が始まりました。彼女とは気が合い、多くのわからないことや悩みの相談にのってもらいました。…生活習慣の違いから理解の出来ないこともありましたが、同じ寮のマレーシア人とは、身近なアジア人という親しさとアメリカ人よりも価値観や生活習慣が似ていたことから仲良くなりました。彼女の英語は完璧だったので、それを聞いて勉強しました。

☆学校生活は…

私の学校は、小さいせいもあって週に1回のホームルームが新入生のためにありました。クラスで、少しでも早く学校に馴染めるように話し合ったり、担当の

教師が相談や問題のアドバイスをしてくれました。男女同数ずつのクラスで、同じ専攻の人が集まっていました。高校の時に日本人留學生と仲が良かったという人がクラスにいて、親しくなりました。

授業は前期と後期の2期制なので、私



○友だちと

は前期にESLを選び、後期に一般のアメリカ人学生と同じクラスを選びました。ESLのクラスは、単に英語の学習だけではなく、ノートの取り方やエッセイの書き方など、正規の授業の助けになる勉強もしました。始めのうちは、授業中に発言しにくかったのですが、だんだんと、手を挙げて自分の意見が言えるようになりました。

後期のクラスでは、数学、コンピューター、社会言語学、エアロビクスを選択しました。言葉が理解できなくても日本の方がレベルが上だった数学と、教授のまねをすれば済むエアロビクスは問題がありませんでした。他はその授業用の特別な用語が飛び交い、少しでも気を抜くとわからない状況でした。多くの予習用プリントや週末用のたくさんの宿題



○インディアンと

習志野ふる里産品育成会

にんじんせんべい

製造発売元 **司園**

習志野市実叡町4-974
TEL 0474(75)1354
FAX 0474(73)3515

ヘアファッションのクリエイター
ダンディエンタープライズ

・ファッションパーマ
・ファッションカット



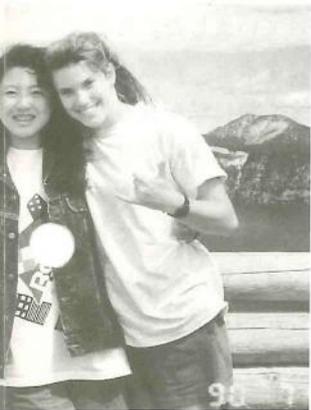
・デザイナーは
あなたです。
ダンディマークが
めじるしです。

京成谷津駅 北口駅前 TEL 76-4575

は大変でした。私は、コンピューターの授業のためにチューターと呼ばれている家庭教師を学校で紹介してもらいました。彼は、同じ学校のコンピューター専攻の学生で、教授が細かく教えなかったことまで教えてくれました。また、級友たちに宿題を手伝ってもらったり…。

☆ホームシックにかかって

今では、ある程度の日常会話が話せるようになりましたが、当初は自分の思っていることが相手にうまく伝えられず困



りました。言葉だけではなく、習慣の違いからコミュニケーションがうまく取れないこともありました。アメリカ人は、はっきりと自分の意見を言わないといいかげんな人だと見たり、会話中に遠慮して何も言わないとその人たちのことを嫌ったかのように、ちょっとしたことから誤解を受けたことも…。そんな時、日本の家族や友達に会いたくなりました。週末になると、アメリカの学生たちは家に帰って行きましたが、留学生たちは寮に残らなければならず、悲しいものでした。また、カロリーの高い食べ物のために太ってしまうことも、切実な悩みのタネでした。

慮して何も言わないとその人たちのことを嫌ったかのように、ちょっとしたことから誤解を受けたことも…。そんな時、日本の家族や友達に会いたくなりました。週末になると、アメリカの学生たちは家に帰って行きましたが、留学生たちは寮に残らなければならず、悲しいものでした。また、カロリーの高い食べ物のために太ってしまうことも、切実な悩みのタネでした。

☆数々の行事

学校では、高校でやっているような多くの行事があります。その一つにホームカミングがあり、フットボール選手の壮行会のようなものです。10月頃に、学校のホールで、各寮や個人、仲間からのスタンツとポスター書きの競い合いがあり、毎週



○3月の学校パーティーで

のように、フットボールの試合も催されました。

月に一度の割合で、生徒会主催のダンスパーティーが開かれ、懸賞付きパーティーや3月にはドレスアップするフォーマルな舞踏会などもありました。

☆凝縮された1年間

1年間を振り返ってみると、自分の母国・日本と第二の母国・アメリカの長所と短所を学ぶことが出来ました。日本にいる時は、アメリカのことがよくみえましたが、行って住んでみると悪いところも見えてくるものです。

また、日本には気づかないことが、アメリカに行くと、日本のことがみえてきました。アメリカへ行ったことにより、何事にも積極的に行動し、自分の意見を言えるようになりました。このように、二つの国を知り、両方の良い部分を吸収出来てよかったと思っています。でも、私の中にはアメリカ的な部分も少しあり、どちらにも所属していない宙に浮いた状態にいる気がします。日本に帰って来た時、逆カルチャーショックを感じました。アメリカと同じつもりで、自分の意見を主張すると〔出る杭は打たれる〕ことになる日本。

一人暮らしをして感じたことは、自分が何もしない限り、誰も何もしてくれないことです。全部やってみて、初めて母の苦勞がわかりました。そして、両親の理解があったからこそ、このように、めったにできない経験を積むことができた、と感謝しています。

もうすぐ、2年目の新学期が始まります。残りの3年間で、さらに英語に磨きをかけ、当初の目的だったマスコミュニケーションを学ぶ予定です。オレゴンの突き抜けるような青空が、私を包みこんでくれています。…もう一回り大きくなれるかなア!

〈筆者紹介〉 松野 由紀子
袖ヶ浦出身。昨年9月より、アメリカ・オレゴン州マクミンビル市内のリンフィールド・カレッジへ、4年間の予定で留学中。N. I. A. 会員



○友人とフットボール競技場で

語源をたずねて(2) 谷津 太郎

聞き間違い、感違い

Alutian
アリュシヤン列島はベーリング海峡の近くにあり、探検隊が初めて上陸した時、原住民が警戒して、「一体なんだ」といったのが島の名前になったそうです。
Aleutian
メキシコのユカタン半島の名前も、スペインの探検家が原住民に地名を聞くと、「君のいうことが分からん」と答えたのを、発音を聞き間違えて、名づけられたという説があります。
Yucatan
フィリッピン島のルソン島も、「ここはどこだ」と地面を指差して聞くと、ちょうど、そこに「白」がありました。原住民はそれを「ロソング」と答えたのが地名になってしまったのです。
Luzon
カンガルーも原住民が名前をきかれて「私は知りません」といったのが、そのまま動物の名になったそうですが…!?

代々木ゼミ津田沼校中学生

2・3学期 受付中 冬期講習 10/5 受付開始

学期・講習とも総合コース、単科ゼミを多数設置/選抜クラス・一般クラスあり。

9/15(祝)中1・2・3トップレベル模試 受付中
次回公開テスト⇒10/6、11/4、11/17、12/15、12/31

▶お問い合わせは、代々木ゼミナール津田沼校中学部へ
〒275 習志野谷津7-7-6 ☎0474-77-8815<大代>

随時学校見学実施中

学校法人 三槇学園

専門 千葉スクール・オブ・ビジネス

コンピュータ専門学校 ☎0474(51)6481

専門 千葉薬事専門学校

薬学系専門学校 ☎0474(51)4611

新しい出会い

池内 澄 (香澄在住)

ちょっとおしゃれではにかみやのエミリー、とてもチャーミングなアミー。今でも楽しかった1週間を時々思い出します。昨年7月、N. I. A. 事務局からアメリカの高校生のホームステイをしませんか？との手紙をいただき、やってみようかとおもいたって応募したのがきっかけでした。事前にいただいた紹介状では、2人とも成績が非常に良く、特にアミーは全米の競泳の選手と記されていました。

それを見て一瞬、エッ、どんな大きな女性が来るのだろうとたじろぎましたが……、会ってみてびっくり。これが競泳の選手なの？と思えるほど足は細くきゃしゃな女の子でした。滞在2日目に2人の両親から電話がありました。子供達が心配だったのでしょう。「ホストの家には水洗トイレもあるし、シャワーもあるから心配ないよ」という会話が聞こえてきました。彼女達の住んでいるアラバマ州の日本に対する認識は、この程度なんだなア、と改めて思い知らされました。

彼女達と過した1週間は、あっという間に過ぎました。その間、私達は彼女達を本当の娘のように思えましたし、彼女達も私達を実の親のように思ってくれたようでした。別れる時には、涙を流して別れを惜しんでくれました。

思い起こしてみると、私達の家には今まで10ヵ国以上の人が訪ねて来たり、泊ったりしました。その方達とは今でも文通しています。谷津干潟を散歩していた時にたまたまバードウォッチングに来て知り合ったフィンランドの夫妻、はるかかなたのマダガスカル友人等、

私達にとっていずれも素晴らしい出会いでした。日本と異ったそれぞれの文化、人間性に直に触れることは、新しい発見があり、また私達日本人の考え方を見直すことができたりして、とても楽しく勉強になります。世界中の人々がそれぞれの文化を理解しあい、認め合えたら、きっとすばらしい世の中になるだろうと思ったりしています。

私達夫婦の夢は、知りあった友人達を一人一人訪問し、再会することです。いつ夢がかなうかなあ？



●池内ファミリーと

高まる中国の切手ブーム

前 章 義 (泉町在住)

初対面の方に「中国で生まれまして…」と生立ちを自己紹介すると、必ずと言っていいほど「それでは中国語はべらべらでしょう」と言われますので閉口します。

米国の日系二世は英語が必須で、三世ともなると日本語は殆ど分らないそうですが、中国(大連)で育った私達は日本語だけで生活していたので、中国語は学校で習っただけでした。

言葉を通じることも大切ですが、本当に相手を理解し手を握ろうとする努力が、今、最も必要なことではないかと思いません。

幕張メッセで5月に開かれた世界卓球選手権大会で中国チームの役員と話が合い、(どちらも切手マニア)昨年アジア競技大会記念の切手や銀貨、10年前の世界卓球選手権大会7種目制覇を記念した初日カバーなどをプレゼントされました。勿論私のほうは卓球をはじめとした日本の運動の切手をプレゼントしました。

3年前に中国旅行のとき、上海のホテルの女子事務員が切手マニアだったので知り合い、文通を続けていました。ところが、昨年春の手紙によると「親戚の切手マニアの子どもが来た時に私が貰った日本の切手を見て、とても羨ましがり、今度手紙を出すときには、是非日本の(切手マニアの)ペンフレンドを紹介して貰いたいと頼まれたので、宜敷くお願いします」とあり、結局私が引き受けることとなりました。そのような経緯から、一年余り前から孫のような上海の高二の兄・中一の妹の二人と文通しています。

「最近、中国切手の相場が、日本よりも中国の方が高いという、大変不思議な現象が起きています。特に今年4月以降は値上がり激しくて、手が出なくなりました」と書いてきました。日本の2倍前後。大変な問題です。

来年は日中間の国交が再開されてから、20年になりますので、習志野市にも中国の姉妹都市が出来て、中国との交流が始まることを念願しています。



●右が前さん

閃き・その一瞬・美身へのパスポート

- ◆フィットネススタジオ
- ◆マシジム
- ◆スイミングスクール
- ◆体操教室
- 男女サウナ



千葉アスレティックセンター
京成大久保駅より徒歩4分
習志野市大久保2-13-1 ☎76-2711(代)

あらゆる旅を For Your Travelife
トータルにプロデュース



JTB津田沼支店

個人・グループ
国内旅行

個人・グループ
海外旅行

国内・海外団体旅行

0474(76)9264

0474(79)5685

0474(76)9515

土曜・日曜・祝日も営業

午前10時30分から午後6時30分まで営業いたします。

定休日は毎週火曜日及び5月3・4・5日

日本交通公社

会員紹介／こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ハ／みなさん、どうぞよろしく！

夢は県下一！青少年部会

丹野健一郎さん（藤崎在住）

約束の時間ピッタリに現われた丹野君は、ストライプのシャツにジーンズ、背中にはデイバッグ姿の高校2年生。礼儀正しくて、さわやかな印象を受けました。

「期末考査が終り、今日一日だけフリーです。明日から球技大会が始まりますし、夏休み中は進学補習があるので、けっこう忙しいです。まだ先のことでですけど大学は国際関係の学部へ進みたいと思っています……。」部活は放送委員会に所属、対談中もキチンと言葉を整理して話されるのはさすが！

N. I. A. の青少年部会には設立準備の段階から参加し、以来主要メンバーとして活躍中です（本誌第13号で紹介された北澤さんと同志）。「入会の動機は、外国の人達の手助けをしたいから。習志野在住の外国人が、思っていたより多いのに驚きました。



●もちつき大会で（左端が丹野さん）

中南米から出稼ぎに来ている人達とちょっとした交流があった時、彼らがお金を稼ぐためだけに日本にきたのではなく、心の通ったつきあいも求めていることを感じました。もっと勉強して英語に強くなりたいです。」

「青少年部会は設立5ヵ月目にして早くもマンネリ化の声もあり、部会報を作ってメンバーの輪をもっと広げたい。英

語交流キャンプなどで、新しい会員との出会いを期待しています。」最後に丹野君からのメッセージ、——若者よ来たれ！青少年部会へ！（K・T）

折り紙と共に abroad

山崎美智子さん（津田沼在住）

折り紙講師。元幼稚園園長先生。お部屋に飾られた色・形とりどりの紙細工の見事さにはまず目を見張りました。どうやって四角い紙から、こんなに色々な物を作り出せるのか…不思議に思いました。



●外国の方に折り紙を教える山崎さん

59年にはオランダへ。60年にはアメリカへ。昨年はカナダへと、現地の日系老人ホームへ折り紙を携えての訪問旅行。コーラスグループの方との同行で、なつかしい日本の歌を歌ったり、お茶のお手前をサービスしたり、金米糖（砂糖菓子）を差し上げたりと、きめ細かな日本の情緒で慰問されるので、お年寄達は涙をこぼしてなつかしがられるとのこと。中でも御苦労が多かった一世の方の中には、閉ざした心をなかなか開こうとせず「ああ、この方にはもう日本は必要ないのかしら」と思っていると突然唇をふるわせての嗚咽となったり、声にならない声で共に歌ってくださったり、「それは感動のシーンなのよ」とおっしゃいます。「また来てくださいね」の声が次の旅行となるのでしょう。（N・T）

楽しかったヨーロッパ旅行

飯塚華織さん（大久保在住）

「ソロはニュー・オリンズの old 奏法でしています。できれば Base と Drum を入れたトリオを組みたいと思っているジャズピアニストで、最近はスタンダードナンバーの英語の歌のひき語りにも挑戦中です。

サンフランシスコで約1ヵ月のホームステイを経験し、忘れられない思い出となりました。今度はホストとして西オーストラリアからの中学生を迎え入れることが決まり我が家は Looking forward to her visit. 一人っ子なので妹ができたような気持ちで嬉しいんです。



●パリの美術館。モネの「水蓮」の前で

昨年は渋る両親をやっと説き伏せて一家でヨーロッパへ。ベルギー、ウィーン、モンブラン、パリとかけ足で回りましたが、一番印象に残ったのは、ブリュッセルのグランドパレス広場。小便小僧の像をぬけると急に視界が広がり、壮大な建物にとり囲まれたその広場は、花のフェスティバルも開かれて、人と花で埋まります。ウィーンのシェンブルン宮殿も、かつてはマリーアントワネットの夏の別荘として使われていたもので、千を越える部屋には、それぞれテーマがあり、それは豪華なものでした。また行きたいですね。（N・T）

炉ばた焼

菊よし

☎ 0474-85-5540

営業時間 ● PM5:00~10:00

定休日 ● 日曜日

京成勝田台駅南口 リブレ京成裏
（調理師及びスタッフ募集中）

ご宴会等に
どうぞ！

YAMATAKE

山武エンジニアリング株式会社
千葉支店

支店長 森 久 能

〒299-01 千葉県市原市姉崎海岸108

TEL: (0436) 61-5151(代)

FAX: (0436) 62-5681

市内高校生10名
タスカルーサへ

習志野市代表の親善使節として、市内在住の高校生10名がタスカルーサ市に派遣されました。

今年で2回目の青少年派遣には、46名の応募があり、第一次選考（一般教養試験）を15名が通過、面接と英会話による第二次選考によって10名の派遣生が決定しました。

派遣生には、6月7日から出発前までに7回のオリエンテーションが実施され、習志野市・タスカルーサ市の概要、姉妹都市派遣青少年の役割やホームステイの心得、アラバマ大学からの留学生によるタスカルーサの説明などを受けました。



●オリエンテーションにも熱が...

オリエンテーションの回を追うごとに派遣生の目は一層輝きを増し、「習志野のことや自分のことをタスカルーサの人に知ってもらいたい」「この体験を他の人たちにも広めたい」などの積極的な声が聞かれました。

派遣生は、7月28日から8月10日まで2週間の日程で、そのうち10日間をタスカルーサ市内の家庭に2人ずつホームステイをしながら、市内施設見学や歓迎会・交流会に参加し、アメリカの文化と生活習慣を学んで帰国しました。

なお、派遣生の奮闘ぶりや体験記は、次号でレポートします。迄うご期待!



●「がんばってきます!」——壮行会で

日本文化セミナー
折り紙教室

在住外国人の方に日本文化に親しんでもらうことを目的とした「日本文化セミナー・折り紙教室」が、教育文化部会の主催で、6月23日(日)サンロードの和室で開かれました。

この日は、タイ・カナダ・アメリカ・フィンランドから8名の方々が集まりました。

まず着付けの先生のご協力で、日本の夏の風物詩「ゆかた」に着替えました。そして、早速、折り紙の先生の指導を受けながら「金魚」「仔犬」などの作品にチャレンジ!!慣れない手付きながらもきれいに仕上がり、うちわに貼り付け完成です。その後は全員で記念撮影。



●次はどう折るの?

皆さんのゆかた姿も、折り紙に負けず劣らず、決まっていました。

教育文化部会では、今年度中に「書道

教室」「もちつき大会」の日本文化セミナーを計画しています。会員の皆さんで外国人のお友達をお持ちの方、どうぞ事務局へお問い合わせください。



●ステキでしょう! ゆかた姿

海と空
機内食体験ツアー

昨年大好評を得た「機内食体験ツアー」が、産業観光部会主催により、8月18日(日)に行われました。

今回は、「海と空」をテーマに、成田航空博物館と千葉港湾内クルーズが盛り込まれたコースです。

もちろんメインは「機内食」。昨年同様に成田レストハウスでエコノミークラスの食事をとりました。

機内と同じにセットされた食事は、海外旅行の気分が加味され、一味ちがったものになりました。

昼食後は、風に吹かれながらの千葉港湾内クルーズ。それぞれが海の彼方へと想いを寄せて、ツアーの一日が静かに過ぎていきました。



●メニューも豊富、機内食

写真やメッセージを入れて30枚から印刷できます。



NTT 習志野支店
(0474)78-6000

●SINCE1887—夢を心で育む予備校●
研数学館
第2学期
受付中
9月4日(水)開講

「KENSU」
きみたちは知っているか——輝く未来は、きみたちの夢や希望でもたらされることを。夢は力だ。それも、無限の可能性を秘めた力だ。いまという時間をプレッシャーに生かすとき、きみたちは信じられない力を手にする。自分の素晴らしさを見出すたびに、きみたちの夢は大きく前進する。きみたちのエネルギーを感動に変えるため、KENSUのスタッフはいる。きみたちには夢、わたしたちには心。

■卒業、高1・2・3生対象に今年も多様なクラスを設置しています。
●大学受験総合科32コース/単科総合指導コース (パンフ無料/ ☎03-3261-8000)
●総合科/科目別単科・コース1,388講座

研数学館
東京校・本校舎/〒101 東京都千代田区西神田2-8-15 ☎03(3251)8000
東京校・本校舎/〒113 東京都文京区本郷1-2-1 ☎03(3816)8000
津田沼校/〒275 千葉県習志野市津田沼1-15-33 ☎0474(78)8000

N.I.A. Information / Shichinensai / Narashino Industrial Festival



— SHICHINENSAI —



Shichinensai or Shichinenmatsuri, the seven-year festival, is the largest local festival in Narashino region, praying for an easy delivery and giving thanks to the deities for having a baby. It is held in every seventh year, according to the oriental zodiac cycle; **Hitsuji** (sheep) year and **Ushi** (cow) year. It will be on November 3rd (Sunday) and 4th (Monday) this year. On the first day, **Mikoshi** (a portable shrine), **dashi** (floats), **ohayashi** (music band) and **ujiko** (parishioners) from nine shrines mentioned below gather in front of Ninomiya shrine in Funabashi city, and have thanks-giving festival which gives thanks to the deities for easy delivery a baby. This festival is called "**Onreitaisai**" (thanks-giving festival). On the second day, four shrines, including Ninomiya shrine, will have the festival in Makuhari of Chiba city, which used to be seashore. This festival is called **Isode-sai** (seashore festival) and is for hoping easy delivery. The festival of thanks-giving for easy delivery proceeds to the festival of praying for it. This order seems to be somewhat peculiar.

THE ORIGIN

Narashino region was called as Makuhari-mura, dominated by **Makuharimutsunokami Yasutane** during the 4th quarter of the 15th century, **Ashikaga** era. Yasutane had a wife who was pregnant. Though eleven months of her pregnancy had passed, she had not given a birth yet. Yasutane was so anxious about her delay of delivery that he asked four shrines, Ninomiya shrine (Miyama-mura), Koyasu shrine (Hata-mura), Komori shrine (Makuhari-mura), Sandaiō shrine (Takeshi-mura), to have ceremony and festival for ensuring her an easy delivery ("Isode-sai").



Then, the wife had a baby-boy. Since Yasutane wanted to give his thanks to the deities for the birth of his son, he ordered nine shrines mentioned below have thanks-giving festival ("Onreitaisai"). This story is the origin of Shichinensai.

The following nine shrines in each city of Narashino, Funabashi, Chiba, Yachiyo will join the festival;

<u>Funabashi city</u>	Ninomiya shrine(Miyama) Hachiōji shrine(Kowagama),
<u>Chiba city</u>	Koyasu shrine(Hata), Komori shrine(Makuhari), Sandaiō shrine(Takeshi)
<u>Yachiyo city</u>	Tokihira shrine(Owada), Takatsuhime shrine(Takatsu),
<u>Narashino city</u>	Ohara-omiya shrine(mimomi), Kikuta shrine(Tsudanuma)

These nine shrines are regarded as a family; Ninomiya shrine is a husband and Koyasu shrine is a wife. Tokihira shrine and Hachiōji shrine are their sons. Takatsuhime shrine is a daughter. Sandaiō shrine is a midwife and Komori shrine is a baby sitter. Kikuta shrine is an uncle and Ohara-omiya shrine is an ante.



MIKOSHI AND MATSURIBAYASHI

The highlight of this festival is a parade of **Mikoshi** (a portable shrine) lead by **Ohayashi** (Music band). The Mikoshi gorgeously decorated is carried by **Ujiko** (parishioners) who wear uniformed **Hanten** (jackets) and **Hachimaki** (headband). The Ohayashi, playing **Fue** (flute), **Taiko** (drum) and **Kane** (bell) with dancing people, lets people know that Mikoshi is coming. From our city, Ohara-Omiya shrine **Hayashiren** (music band), and Kikuta shrine Hayashiren will join this parade.

The festival has filled the main part of Japanese life. At the festival, we are able to meet with our friends whom we have not met for long time. At the festival, we share a common purpose to make it successful. It could be a trigger for cooperating each other to develop our city.

PROGRAM

Sun. November 3rd, 1991

Onreitaisai (Thanks-giving festival) will be held at the Ninomiya shrine in Funabashi city.

Mon. November 4th,

Isodesai (seashore festival) will be held on the former seashore in Makuhari of Chiba city.

Up coming exciting Festival! Narashino Industrial Festival 1991

The 6th Narashino Industrial Festival will be held to introduce the citizens widely the various phases of new industries and business in the city. This Festival also intends to create more mutual citizen-ship and corporate culture through lots of fascinating events and activities.

The site of International Exchange will be set up by Narashino International Association.

Various products which are used in your family life will be displayed and sold by retailers and manufacturers of the city.

We are waiting for your joining and enjoying the festival together. It will be held as follows,

Date : November 16(Sat.) and 17(Sun.)

10:00A.M. through 4:00P.M.

Place : Open Space of Akitsu Comprehensive Athletic Park.



サティーン アイスクリーム
BASKIN-ROBBINS
津田沼南口店
☎0474 (74) 1 7 9 2

東武友の会 クレソンサークル 会員募集中
月々のお積立て(3,000円から)で、素敵に暮らしが弾みます。

—— 1年後、プラス1ヵ月分のボーナス ——
1年満期後には、お積立て総額に1ヵ月分を加えた「商品お取替券」にてお返しいたします。
—— うれしい特典がいっぱい ——
お買物の割引をはじめ、旅行会などの多彩な催しにご優待、特別ご優待セールのご案内など。
—— お積立は、銀行自動振替、ご持参のどちらでもOKです。 ——
お問合せ・お申込み クレソンサークルカウンター4階 内線6356

TOBU 東武友の会 船橋
千葉県船橋市本町7-1-1 〒273
TEL.代表/0474-25-2211

Let's チャレンジ / ザ・英文クロスワードパズルNo.15 / プレゼント付!

<DOWN>

1. A trip; to travel.
2. To sleep for a short time.
3. A piece of wood, metal.
4. A very great pain in mind; to annoy.
5. A friend ____ need is a friend indeed.
6. To look with great sexual interest.
9. Like better.
11. Strongly active, felt.
14. Chemical symbol for bromine.
16. Salt Lake City is in the state of ____.
18. To be torn violently.
20. Steamship.(Abbreviation)

<ACROSS>

1. A place of joining, meeting or uniting.
7. He walked ____ the street.
8. In a higher position.
10. Los Angeles.
12. Railroad.(Abbreviation)
13. Jewels which is yellowish blown colour.
15. With no sexual organs of plants or animals.
17. Newt.
18. With regard to.
19. A form of very very small plant life that is used for making bread.
21. Speak ____ English!
22. Royal Historical Society.(Initials)
23. Airport.(Abbreviation)

1		2	3	4	5	6	
		7	I			E	
8	9			A		10	11
12			13		14		B
15		16		C			
17						18	
19			20			21	
	H			F	23		G

<応募要領>

◆クロスを解いたあと、A～Jの文字をつなげて、できたことばが解答です。

♥葉書に解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、また本誌の感想等を書いて送ってください。1991年10月15日必着。

♠正解者の中から、抽選で5名の方に、姉妹都市提携5周年記念Tシャツを差しあげます。希望サイズ(M・L・LL)を明記してください。当選者は、12月上旬発行予定の本誌第16号で発表。

♣宛先：〒275 習志野市鷺沼1-1-1 習志野市役所総務課内「NIAスクウェア」編集部。

たくさんのご応募お待ちしております。



前回の解答と当選者の発表

オリジナルキャップ当選の方おめでとうございます!

<解答>LECTURE

S	U	P	E	R	I	O	R
W	A	I	L	M	E		
E	R	A	D	I	A	T	E
E		N	E		G	E	L
P	A	I	R		I	N	
	L	S		A	N	T	I
B	O	T	T	L	E		C
E	W		O	L		F	E

<当選者> 夏祭り、花火大会、海水浴…皆さんはこの夏をどう過ごされましたか。クロスにもたくさんの御応募ありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の方々が当選されましたので、賞品をお送りします。

秋です。肌には風、耳には虫の声、そしてクロスワード…。

鹿嶋 孝さん(会社員)
西屋 園江さん(中学生)



編集部だより / 本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。

姉妹都市提携5周年記念

Tシャツはいかがですか

習志野市国際交流協会では、姉妹都市提携5周年記念Tシャツを作成しました。

背中に青い文字で両市の名称が入り、赤で「5周年記念」の英文字が入っています。(今回のクロス賞品写真参照)

ご希望の方には1枚1300円でおわけします。市役所3階協会事務局へどうぞ。

『タスカルーサへの手紙』募集しています

協会では、習志野市とタスカルーサ市の姉妹都市提携5周年を記念して、タスカルーサ市民に送る習志野市民の皆さんの手紙を募集します。

手紙は、タスカルーサ市で毎年開催される「さくら祭」の会場に置いて、タスカルーサの方々に読んでいただきます。

文章は英語で書いていただきますが、内容は習志野市の様子、家族のこと、学校や仕事のことなど、なんでも結構です。

手紙は封筒に入れ、表には自分の名前、住所を英語で記入し、習志野国際交流協会事務局までお持ちくださるか、郵送でお送りください。

英語スピーチコンテスト 参加者募集!

英会話スクールIEC国際交流センターでは、英語によるスピーチコンテストを開催します。奮ってご参加ください。

日程：11月16日(土) 会場：大久保市民会館 内容：自由(一般の部、高校生の部、中学生の部、小学5・6年生の部)

後援：習志野市教育委員会・習志野商工会議所 協賛：習志野市国際交流協会 申込み・問合せ：IEC国際交流センター ☎(71)7744(月～金 12:30～21:30)

編集アラカルト

- 習志野・タスカルーサ姉妹都市5周年。今後も活発な交流を! (M・小林)
- 長崎で夏季休暇を過ごしました。(M・小森)
- 好奇心の塊のような人ほど輝いた目をしている…ボランティア活動も同じ。(Y・宇井)
- ボンヤリしていたのは暑さのせい!? スリにご用心。(K・寺田)
- ある本で「驟雨」という言葉がありました。こんな語を自由に使える頭がほしい。(R・大山)
- Nice to meet you! 会員紹介のお仕事は楽しいです。(N・武田)
- 読書の秋。スクウェアをじっくり読んでくださっている皆さんに感謝! (N・井澤)
- 暑い夏が、思い出を残して過ぎていきます。でも…まだ暑い。(Y・中村)

NIA スクウェア・第15号

発行・1991年9月1日 / 発行責任者・林 安次
編集責任者・小林 実 / 企画構成・小森 雅夫
編集・習志野市国際交流協会 総務部 会
〒275 習志野市鷺沼1-1-1 習志野市役所総務課内
電話 (0474) 51-1151 内線244